

# 旭川放水路（百間川） 分流部改築事業

「世紀をこえた川づくり」

～歴史的遺構・自然環境の保全と安全・安心との調和を目指して～

## 百間川分流部の概要

### 概要

- 旭川放水路（百間川）は、江戸時代より残る放水路を活用し、昭和40年代より国により河川改修を進めています。
- 百間川への洪水の分流位置は、現在も当時と同様と言われており、また分流部は豊かな自然環境が残る貴重な河川空間であることから、その機能と施設を極力引き継いだ形で改修を進めています。



二の荒手



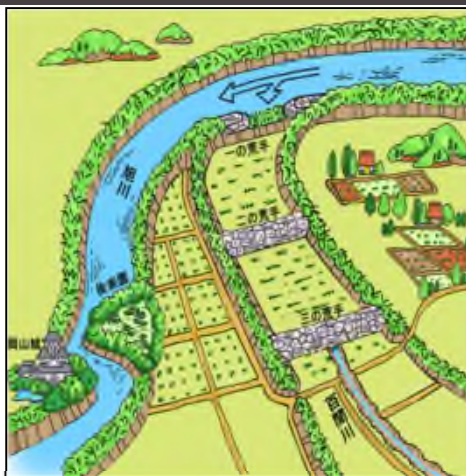
一の荒手下流巻石部(亀の甲)



一の荒手上流巻石部(亀の甲)

## 分流部三段の荒手のしくみ

- 江戸時代に岡山城下の洪水被害軽減等を目的に熊沢蕃山が越流堤防により流水を東南へ吐かす「川除けの法」を考案しました。
- その後、貞享3年(1686年)、津田永忠により堤や荒手を備えた放水路が築造され、一定量を越えた旭川の水が荒手堤を越えて百間川へ分流することで、城下を洪水から守る仕組みを実現させました。
- 三段(3ヶ所)の荒手により水勢を弱めながら旭川の洪水を下流に越流・放水させます。
- 二の荒手、三の荒手は洪水時の土砂溜め機能を有していました。(三の荒手は明治25年洪水で流失し現存しません。)



旭川の水量が増加

「一の荒手」を越流

「一の荒手」と「二の荒手」の間に貯留され土砂を沈殿

さらに水量が増加

「二の荒手」、「三の荒手」を越えて百間川に流入

【荒手の効果】

- ・ 洪水の流れる速度を抑制
- ・ 砂の流出を抑制

## 豊かな自然環境

- 百間川分流部は、岡山市街地の近郊に位置しながら、豊かで貴重な自然環境が多く残っています。



分流部(ホタル池)周辺の桜と賑わい(H28. 4)

- 旭川水系は、全国的にも淡水魚数が多い、自然豊かな川で、旭川・百間川共に珍しい植物や動物も多く見られます。

- 百間川は300年前から造られた、歴史的経緯をもつ人工の河川ですが、いまでは、春には桜が咲き誇り、初夏にはホタルが舞い、夏には子供たちが水辺で遊ぶ、周辺住民の憩いの場となっています。



ヤリタナゴ



ゲンバイトンボ



# 百間川分流部の課題と改築の必要性

## 百間川の改修経緯

百間川は、岡山城と上道郡を洪水から守るとともに、下流域の新田開発のために築造されて以来、約300年にわたり旭川放水路として岡山平野を洪水の氾濫から守る大切な役割を果たしています。

国土交通省では、百間川の役割の継承と、百間川沿川における安全確保の両立をめざして、昭和49年に築堤等の本格的な百間川改修に着手し、平成9年には工事实施基本計画（平成4年改定）の百間川分流量（2,000m<sup>3</sup>/s）に対応した堤防が砂川を残し概成しました。

また、百間川河口水門の増設工事が平成27年3月に完成し、現在 分流部の改築を進めています。

### これまでの百間川整備の概要

#### ●河道整備

洪水が安全に流れる河道に！



#### ●堤防整備

堤防を高く、丈夫に！



#### ●橋梁改良

洪水時にも安心して渡れる橋に！



#### ●排水路整備

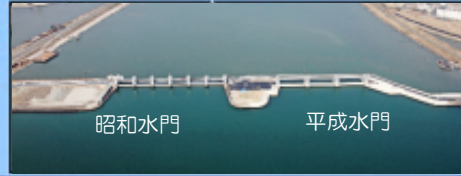
機能的な排水路に！



#### ●百間川河口水門の増設

昭和 water gate

平成 water gate



## 分流部改築の必要性と整備効果

- 平成10年の洪水においても、一の荒手や二の荒手の一部が破壊されており、発掘調査の結果から今まで幾度も修復・補強を繰り返していました。

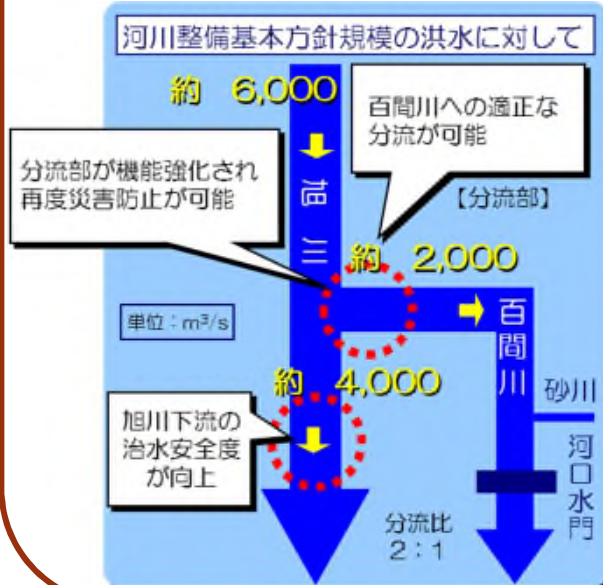
### 分流部の改築が無ければ・・・

- 適正な分派が出来ません。  
(未改築の箇所が多い旭川に多く流れ、堤防の完成した百間川の放水路効果が発揮できません。)
- 分流部（一の荒手・二の荒手・背割堤）は空石積みのため洪水により破壊する可能性があり、壊れた場合は百間川的能力より多くの洪水が流れ込むため、沿川で浸水被害が発生します。
- 旭川の流量が約5,000m<sup>3</sup>/sを越える大洪水の場合、洪水は背割堤の全区間を越え百間川へ多く流れ込みます。



### 分流部の整備が完了すると・・・

- 百間川放水路の機能が発揮され、中小洪水時でも岡山市内の浸水が軽減されます。
- 適正な分派により百間川沿川の浸水も防げます。





# 百間川分流部の改築概要（完成箇所）

## 二の荒手改築 整備概要（H29.6完成）



二の荒手完成状況（H29.6）

### ○二の荒手 整備概要

- ・切欠部，天端高とも元の形状を維持する。
- ・今後洪水等により損壊しないよう補強する。

### 【二の荒手の保全活用】

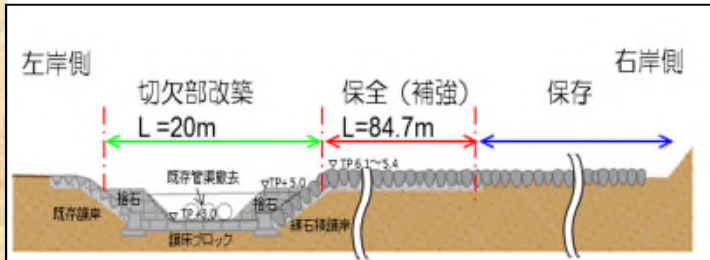
元の形状で保存することを原則とするが、一部補修を行う。

### 【分流部の河川利用】

子どもたちの環境学習、自然観察、親水空間に配慮した水辺の創造に努める。

### 【オニバスの移植の取組】

工事箇所周辺に自生していたオニバスから種を採取し、苗を育て、元の位置に戻す移植作業を、地元小学生と一緒にいった。



二の荒手 改修横断面図



オニバスの移植風景

オニバスの繁殖状況

オニバス移植取組状況写真

## 浸水想定図で見る整備効果



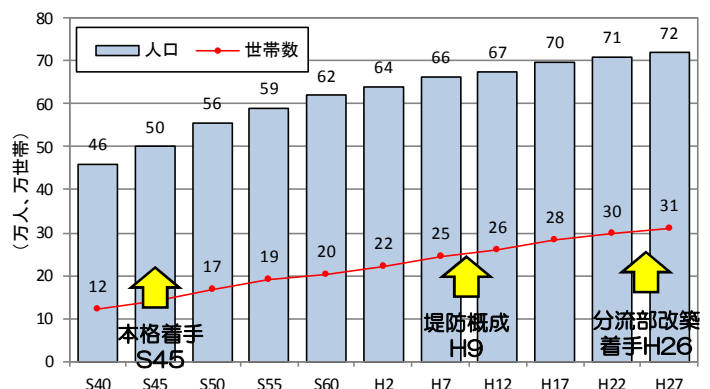
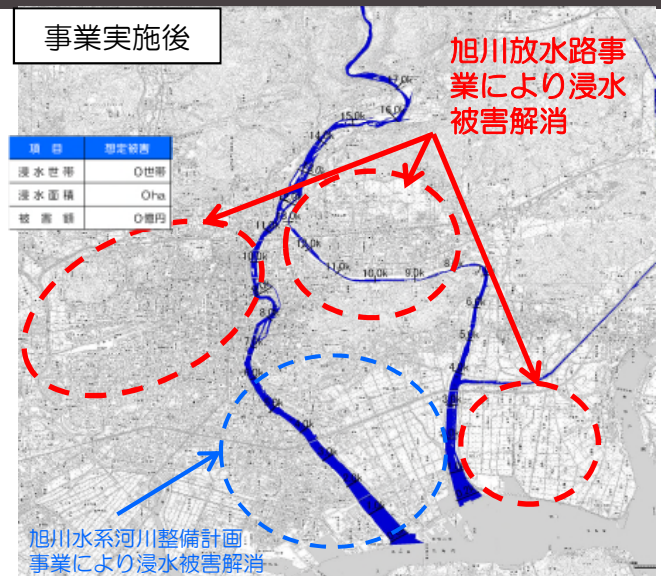
整備計画規模相当となる1/50の確率規模の降雨を対象とした被害の軽減状況

## 地域の発展と百間川分流部改築事業

昭和45年の事業本格着以降、岡山市では、人口・世帯数は増加傾向であり、平成21年4月には全国で18番目の政令指定都市に移行しました。

今後も地域の発展と安全安心な暮らしのため、早期完成を目指し事業を推進します。

## 事業実施後

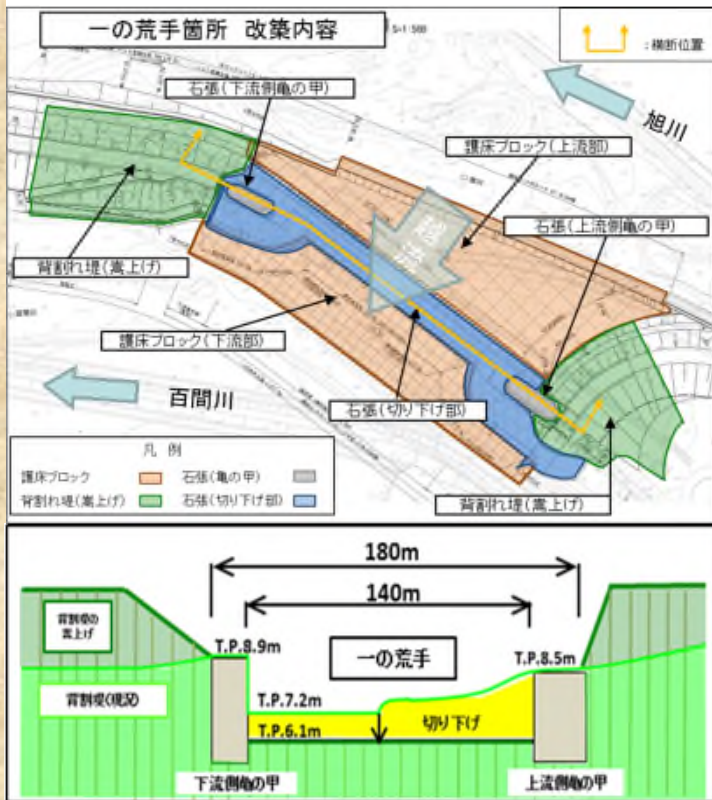


※岡山市HP 統計情報より(現在の岡山市に相当するエリアを集計) 岡山市人口・世帯数の変化



# 百間川分流部の改築概要（予定箇所）

## 一の荒手改築 整備概要（H29.10着手）



一の荒手 改修横断図（イメージ）

### ○一の荒手 整備概要

#### ■現状の構造では

旭川：百間川＝4,000m<sup>3</sup>/s：2,000m<sup>3</sup>/sの分流比が確保できないため、一の荒手箇所改築を行う必要がある。

#### ■一の荒手箇所の改築内容

- 旭川百間川の分流比を確保するため、越流箇所の切り下げを実施。
- 一の荒手を挟んで上下流の背割堤の嵩上げを実施。
- 現況が空石積みの上流亀の甲について、錬石による補強。
- 越流による洗掘防止のため護床ブロックを設置。



一の荒手に残っている「亀の甲」については現在の位置で本来の機能を持たせつつ、保全を行う。

## 分流部改築の予定



国土交通省 中国地方整備局  
岡山河川事務所 工務課  
2017.11

〒700-0914  
岡山市北区鹿田町2丁目4番36号  
TEL 086-223-5184 (工務課)  
FAX 086-234-2298



「次世代に 学んで引き継ぐ この地球」